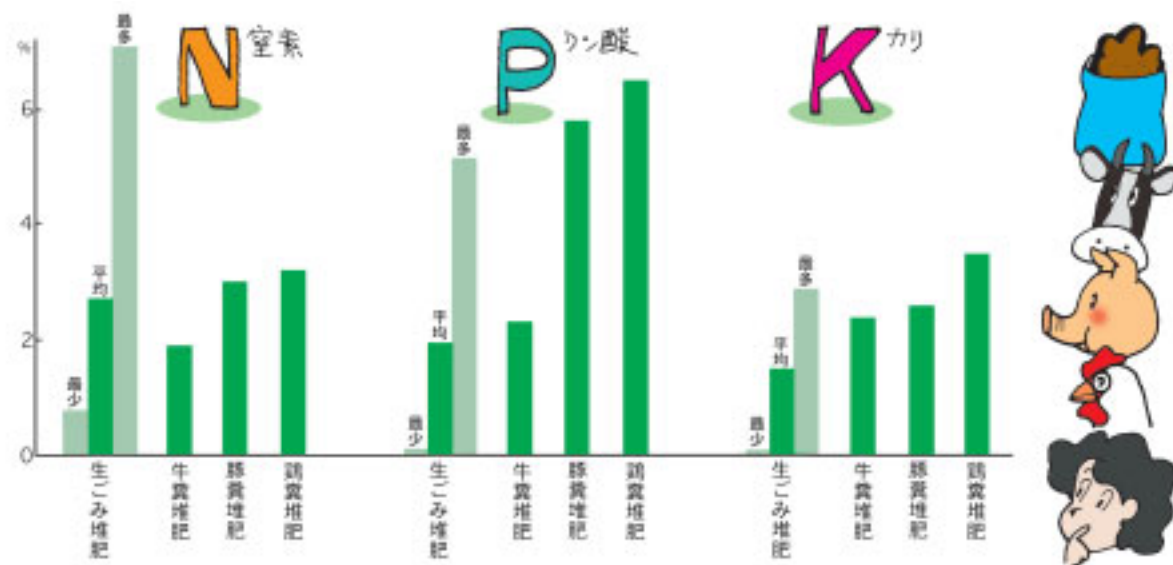


# 2

## 人の食べものから、 微生物・大地の食べものへ —生ごみの特徴とは



生ごみ堆肥の成分の特徴 (乾物割合)

生ごみ堆肥というと、「あれはちょっと」「一度やってみただけど」という人も少なくありません。臭いや虫の発生などが思い浮かぶからでしょう。また、生ごみは塩分や脂肪を多く含むことから、その堆肥を施したときの作物に対する効果と害に不安をもつ人もいます。この冊子では、つくるのも使うのも楽しく、生ごみがわが家・地域の宝になる堆肥づくりを考えていきます。まず、生ごみ堆肥の特徴を知っておきましょう。

### ● 生ごみ堆肥は窒素が多く、早効きタイプ

生ごみ堆肥の成分を家畜糞堆肥と比べてみると、上の図のように窒素は鶏糞堆肥・豚糞堆肥並みに高く、リン酸は鶏糞堆肥・豚糞堆肥よりは低いが牛糞堆肥並み、カリはどの家畜糞堆肥よりも少なく、とくに窒素が多い堆肥であることがわかります。また、生ごみ堆肥は、吸収されやすい成分を含んでいるため、鶏糞並みに早く効きやすい堆肥です。この点は、稲わらやおがくずなどの植物資源の多い堆肥と比べると、はっきりちがう特徴です。

さらに、調査した30種類の生ごみ堆肥の成分の範囲を見ると、窒素の含量は0.7から7.1と10倍もの開きがあり、成分の変動が大きいのも実態です。

栄養分が多いのは、原料が私たち人間の食べものだからです。野菜の皮や魚の骨などの調理くずも